



(1) 緑友ハーモニー26年度運営体制

幹事長: 小林 力 (5回生)

幹事楽譜係: 岡真理子 (14回生)

幹事会計係: 清水あつ子 (14回生)

パートリーダー: 矢島多恵子 (ソプラノ)、佐藤睦子 (アルト)

河野通久 (テナー)、上田昌紀 (バス)

(2) 今後の練習日程

1月16日 (金)	13:00 ~ 15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
1月16日 (金)	15:30 ~ 16:30	ミニ総会: 中央町社会教育館・102号研修室
1月23日 (金)	10:00 ~ 12:00	緑ヶ丘文化会館・レクホール (本館3階)
2月20日 (金)	13:00 ~ 15:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室 (別館2階)
2月20日 (金)	15:30 ~ 16:30	話し合い 緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室 (別館2階)
2月27日 (金)	10:00 ~ 12:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室 (別館2階)

3月6日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
3月13日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
4月17日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
4月24日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
5月8日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
5月22日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
6月12日(金)	10:00～12:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室(別館2階)
6月19日(金)	13:00～15:00	緑ヶ丘文化会館・第11研音楽室(別館2階)
7月10日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
7月24日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
8月14日(金)	お盆休み	
8月28日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクホール 男性: 12:30から
9月11日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
9月25日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクホール 押見先生ご指導
10月9日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
10月16日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
10月30日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月6日(金)	10:00～12:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月13日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月20日(金)	13:00～15:00	中央町社会教育館・レクリエーションホール
11月27日(金)	午前	リハーサル 小山台会館2階音楽室
11月27日(金)	午後	コンサート 小山台会館3階大ホール
12月4日(金)	11:30～14:00	コンサート打上げ/クリスマス会 田園調布倶楽部

註1: 表中下線の日は奇数週金曜日です。ご注意ください。

註2: 今年もコンサートを11月27日に小山台会館で開催します。

註3: 10月、11月はコンサートに備えて月3回の練習になります。

註4: 今年のクリスマス会はコンサートの打ち上げを兼ねて12月第1金曜日(12月4日)に昔ながらの田園調布倶楽部で11:30から14:00まで開催します。

(3) コンサートとクリスマス会

今年もコンサートを開催します。日時は11月27日午後、会場は昨年ミニコンサートを開催した小山台会館3階大ホールです。曲目の中ではヴィヴァルディの見た日本の四季が目玉で、ヴァイオリン奏者も加わってくださるそうです。

クリスマス会はコンサートの打ち上げを兼ねて、通常より1週間早めて12月の第1金曜日4日に幸い再開した田園調布倶楽部2階で11:30から14:00まで開催します。

(4) 廣津留すみれのヴァイオリン・リサイタル

小林 力

7月9日にみなとみらいホールに廣津留すみれのヴァイオリン・リサイタルを聴きに行った。

ほぼ1年前の緑友ハーモニー6月号で彼女がデンマーク・フィルと共演したチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲について書いた。その前置きとしてこの廣津留すみれというヴァイオリニストは只者ではない、実に秀才、多才、天才なのである、と彼女の経歴を紹介した。振り返ってみよう。

廣津留すみれは3歳でヴァイオリンを始め、12歳で九州交響楽団の全国ツアーに独奏者として同行している。高校在学中にカーネギーホールでデビューを飾っている。

そればかりではない。大分県の片田舎の公立高校から名門中の名門ハーバード大学へ進学、主席で卒業してジュリアード音楽院の修士過程に進み、ここも首席で卒業している。ハーバード在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マとの度々の共演を経て、米国を拠点に演奏活動を展開、自身の四重奏団を率いてNY・リンカーンセンターやMoMA近代美術館演奏するほか、近年はデンマーク国立フィルと日本ツアーで共演した(ちなみに、この演奏会については緑友ハーモニー便り2025年6月号の ひまつぶし に書いた)。

幼少期から日本語と英語に堪能で、なんと彼女は4歳で英検3級に合格したバイリンガルなのである。彼女は小さい頃日本の公用語は英語と日本語だと思っていたという。もちろんこれには母親の英才教育があった。母親の廣津留真里は「世界に通用する一流の育て方」という著作の中でその様を詳述している。

廣津留すみれは著述家でもある。いくつか挙げると、ハーバード・ジュリアードを首席卒業した私の「超・独学術」、ハーバード・ジュリアードで私が見てきた「新・世界の常識」、私がハーバードで学んだ「世界最高の考える力」、「ネイティブがよく使う英語フレーズ」などである。さらに彼女は実業家でもある。ジュリアード卒業後、ニューヨークで演奏活動続けるからわら、音楽家のもつ様々な課題、企画やプロモーションなど多岐にわたってアドバイスをするサービス会社「Smilee Entertainment」を2018年に起業しCEOとして運営した。コロナが蔓延した2020年に帰国、成蹊大学客員准教授、国際教養大学客員准教授を兼務し、演奏活動を中心に、講演、テレビ出演、と多岐にわたって活躍している。まだ33歳の若さであり、将来が楽しみな逸材である。使用楽器はストラディヴァリウスで、2020年帰国にあたって宗次コレクションにより貸与されている。使用弓はTakeuchi Collection より貸与の J.A. Lamy である。

さて、今日のリサイタルのプログラムは、クライスラーとラフマニノフが互いの名曲をそれぞれの楽器に編曲しあう親友関係にあったことから『クライスラーとラフマニノフの友情』と題して、

フリッツ・クライスラー	ウィーン奇想曲 中国の太鼓
セルゲイ・ラフマニノフ	パガニーニの主題による狂詩曲 (ヴァイオリンとピアノ版)
セルゲイ・ラフマニノフ	祈り
エルネスト・ショーソン	詩曲 Op.25
	休 憩
フリッツ・クライスラー	愛の喜び 愛の悲しみ 美しきロスマリン
セルゲイ・ラフマニノフ	ヴォカリーズ Op.34-14
フランツ・シューベルト	ヴァイオリン・ソナタ イ長調 D574

今回の感想文は、プログラムの中から馴染みの深い曲だけを取り上げよう。まず、何と言ってもラフマニノフの「祈り」を上げないわけにはいかない。この曲はラフマニノフのピアノ協奏曲第2番の第2楽章をヴァイオリンとピアノのために編曲したものだ。原曲のピアノ部分を下の楽譜のようになっ

ている。まるで4拍子の月光ソナタのようである。したがって、この曲をヴァイオリンとピアノのために編曲すると、ヴァイオリンがオーケストラの役目を果たし、ピアノが主体となる。大変美しい曲に仕上がっている。



次にあげたいのは、クライスラーの有名な3部作「愛の喜び」「愛の悲しみ」「美しきローズマリン」だ。「愛の悲しみ」の切なさは涙が出るほどだ。

そして最後に取り上げるのが、これも有名なラフマニノフのヴォカリーズ。下の楽譜はその冒頭部分である。私がスラブの哀愁といっているロシア音楽に共通の愁いを含んだ調べは心の琴線に触れる。廣津留のヴァイオリンは明らかに美音系で、その最たるものだ。高音の美しさは特筆に値する。



ここでちょっと話は飛ぶが、いろいろな講演などで話術に長けた廣津留は各曲の説明を自ら語っている。驚いたのは、コンサート後半で、突然場内が明るくなり、廣津留が観客に向かって、あなたは何歳ですか、手を挙げて教えてくださいといい、20代、30代、、、60代、70代、80代、90代と観客に手お挙げてもらったのだが、何と最も多かったのが70代、80代だった。さすがに3桁、と聞いた時は誰もいなかったが、若い人の少なさには驚いた。週日

のコンサートだからということもあるだろうが、それにしても、老人のファンが多いのには私自身納得したものだ。しかも「満員御礼」の張り紙が出るほどみなとみらいホールを満席にしたのだから大したものだ。

アンコールに 瀧 廉太郎 の「花」を演奏してくれて、私はひとりほくそ笑んだ次第だ。